



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 エーザイ株式会社

上場取引所 東・大

コード番号 4523

URL <http://www.eisai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 内藤 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役

(氏名) 松江 裕二

コーポレートコミュニケーション担当

TEL 03-3817-5120

四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	204,463	5.0	32,773	35.7	30,167	30.2	18,789	14.9
22年3月期第1四半期	194,671	△0.6	24,144	0.3	23,177	△2.9	16,349	△1.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	65.94	65.94
22年3月期第1四半期	57.39	57.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	1,065,528	398,131	36.8	1,376.88
22年3月期	1,101,910	421,740	37.7	1,459.74

(参考)自己資本 23年3月期第1四半期 392,324百万円 22年3月期 415,935百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	70.00	—	80.00	150.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	416,000	5.3	56,000	14.0	52,500	16.2	34,500	11.6	121.09
通期	810,000	0.9	105,000	21.5	98,500	23.6	65,000	61.1	228.14

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】10ページ「2.その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無
新規 ー社 (ー) 除外 ー社 (ー)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更：有
② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期第1四半期	296,566,949株	22年3月期	296,566,949株
② 期末自己株式数	23年3月期第1四半期	11,630,783株	22年3月期	11,629,379株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期第1四半期	284,936,904株	22年3月期第1四半期	284,904,136株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値・予想の前提条件その他に関する事項については、7ページをご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	(ページ)
1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
2) 研究開発などの状況	4
3) 連結財政状態に関する定性的情報	6
4) 平成23年3月期の連結業績予想	7
5) コーポレートガバナンスに関連する事項	8
2. その他の情報	10
1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	10
2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更	10
3. 四半期連結財務諸表	
1) 四半期連結貸借対照表	11
2) 四半期連結損益計算書	13
3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
4) 継続企業の前提に関する注記	15
5) セグメント情報	15
6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16
7) 注記事項	16

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

1) 連結経営成績に関する定性的情報（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

[売上高、利益の状況]

- 当四半期の連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高	2,044億63百万円	(前年同期比)	5.0%増)
営業利益	327億73百万円	(同)	35.7%増)
経常利益	301億67百万円	(同)	30.2%増)
四半期純利益	187億89百万円	(同)	14.9%増)

- 売上高については、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」が829億28百万円(前年同期比10.9%増)、プロトンポンプ阻害剤「パリエット」(米国内名「アシフェックス」)が352億84百万円(同3.9%減)となりました。また、がん関連領域製品の売上高は203億4百万円(同2.9%増)となりました。
- 売上増による売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費の効率化により、営業利益、経常利益および四半期純利益は増益となりました。
- これにより、1株当たり四半期純利益は65円94銭(前年同期より8円56銭増)となりました。

[キャッシュ・インカム]

- 当社グループは、キャッシュ創出力を表す経営指標として、キャッシュ・インカムを使用しております。
- キャッシュ・インカムは、成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。
- 当四半期純利益は187億89百万円、有形・無形固定資産の減価償却費は113億84百万円、のれん償却額は20億93百万円、減損損失(投資有価証券評価損含む)は3億21百万円となりました。
- その結果、当四半期のキャッシュ・インカムは325億89百万円(前年同期比6.2%増)となり、1株当たりキャッシュ・インカムは114円37銭(前年同期より6円64銭増)となりました。

*キャッシュ・インカムの算式

当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額
＋減損損失(投資有価証券評価損含む)

*1株当たりキャッシュ・インカムの算式

キャッシュ・インカム÷発行済株式数(自己株式控除後)

[セグメントの状況]

(各セグメントの売上高は外部顧客に対するものであります)

[セグメントの状況]に関する文章は、当四半期より適用している「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)に基づき記載しております。また、文章中の前年同期と比較した指標は「参考値」として記載しております。
 なお、セグメント情報については、15ページに記載しております。

<日本医薬品事業>

- 売上高は861億72百万円(前年同期比5.6%増)、セグメント利益は368億9百万円(同7.1%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は252億71百万円(前年同期比8.0%増)、「パリエット」の売上高は150億93百万円(同12.6%増)となりました。

<米国医薬品事業>

- 売上高は885億54百万円(前年同期比6.7%増、現地通貨では12.9%増)、セグメント利益は265億円12百万円(同19.8%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は501億70百万円(前年同期比17.6%増、現地通貨では24.4%増)、「アシフェックス」の売上高は169億80百万円(同14.2%減、現地通貨では9.2%減)となりました。

<欧州医薬品事業>

- 売上高は111億19百万円(前年同期比10.0%減)、セグメント利益は12億78百万円(同36.1%減)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は57億75百万円(前年同期比19.3%減)、「パリエット」の売上高は18億15百万円(同11.9%減)となりました。

<アジア医薬品事業>

- 売上高は87億58百万円(前年同期比17.4%増)、セグメント利益は20億90百万円(同0.2%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は16億76百万円(前年同期比7.6%増)、「パリエット」の売上高は13億23百万円(同5.6%減)となりました。

<ニューマーケット医薬品事業>

- 売上高は2億64百万円(前年同期比30.3%増)、セグメント損益は62百万円の損失となりました。
- 「アリセプト」(インド名「アリセップ」)の売上高は34百万円(前年同期比21.0%増)、「パリエット」(インド名「パリット」)の売上高は72百万円(同46.0%増)となりました。

2) 研究開発などの状況

[開発品の状況]

- 抗がん剤「E7389」（微小管ダイナミクス阻害剤）は、乳がんに係る適応で、日本、米国、欧州（EU）ならびにスイス、シンガポールにおいて申請中であり、平成22年5月には、日本、米国で優先審査品目に指定されました。また、平成22年6月に開催された第46回米国臨床腫瘍学会年次総会で、本剤のフェーズⅢ試験（EMBRACE 試験／Eisai Metastatic Breast Cancer Study Assessing Physician’s Choice Versus E7389）結果が口頭発表され、重度の前治療歴のある局所進行性・転移性乳がんの患者様において、治験医師選択療法と比較し有意に全生存期間の中央値を延長したことが紹介されました。あわせて、非小細胞肺癌（米国）、前立腺がん（欧米）、肉腫（欧州）を対象としたフェーズⅡ試験等も進めております。
- エンドトキシン拮抗剤「E5564」は、日本、米国、欧州での同時申請をめぐり、重症敗血症を対象としたフェーズⅢ試験が進行中であり、本試験は、国際共同治験として取り組んでおります。
- 平成22年5月、日本で、頻脈性不整脈治療剤「タンボコール錠」の小児における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性）の効能・効果および用法・用量の追加承認を取得いたしました。
- 平成22年6月、日本で、プロトンポンプ阻害剤「パリエット」の非びらん性胃食道逆流症に関する効能・効果追加、およびアモキシシリン水和物およびクラリスロマイシンまたはメトロニダゾールとの3剤併用による、胃MALTLリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、および早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法に関する効能・効果追加の承認を取得いたしました。
- 平成22年7月、米国で、中等度・高度アルツハイマー型認知症の治療剤である1日1回投与の高用量製剤「アリセプト錠 23mg」の承認を取得いたしました。
- 平成22年4月、日本で、プロトンポンプ阻害剤「パリエット」の逆流性食道炎に関する用法・用量追加の申請をいたしました。
- 平成22年6月、米国で、プロトンポンプ阻害剤「アシフェックス エクステンドリリース 50mg 製剤」の承認申請が受理されました。
- 平成22年7月、米国で、てんかん治療剤「BANZEL」の新剤形である経口懸濁液（40mg/mL）の承認申請が受理されました。
- 抗がん剤「MORAb-003」（モノクローナル抗体）について、欧米に続き日本でも卵巣がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始いたしました。本試験は国際共同治験として取り組むことになりました。
- てんかん治療剤「E2080」について、日本でレノックス・ガストー症候群を対象としたフェーズⅢ試験を開始いたしました。

- 抗がん剤「E7080」(VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤)について、米国でメラノーマを対象としたフェーズⅡ試験を開始いたしました。
- 抗がん剤「ONTAK」について、米国でメラノーマを対象としたフェーズⅡ試験を開始いたしました。

[主な提携などの状況]

- 平成22年6月、米国子会社 Eisai Inc.は、スイスの Helsinn Healthcare S.A.と、がん化学療法に伴う悪心・嘔吐の予防薬をめざした、ニューロキニン受容体拮抗剤 netupitant (一般名)とセロトニン-3受容体拮抗剤 palonosetron (一般名、製品名:Aloxi)を含有する新規の制吐剤配合剤(経口剤、注射剤)について、米国における商業化に係るライセンス契約を締結いたしました。
- 平成22年7月、米国子会社 Eisai Inc.は、米国 Arena Pharmaceuticals, Inc.のスイス子会社 Arena Pharmaceuticals GmbHと、肥満症治療剤 lorcaserin (一般名)について、米国における独占的商業化に係るライセンス契約を締結いたしました。

[主なトピックス]

- 日本での販売についてファイザー株式会社とコ・プロモーション契約を締結している「リリカ カプセル」について、日本で、平成22年4月にファイザー株式会社が帯状疱疹後神経痛の効能・効果で製造販売承認を取得し、6月に新発売いたしました。
- 平成22年4月、医薬品販売会社 Eisai Ltd.(Canada)をカナダに設立いたしました。
- 平成22年5月、米国ノースカロライナ工場において抗がん剤の注射剤生産棟が開設されました。この新しい生産棟は、当社グループとして初めての抗がん剤を含む注射剤の製剤化研究と製剤生産を担うグローバルな生産拠点となります。無菌生産ライン、治験薬製造ライン、製剤研究室などを有し、最先端の封じ込め隔離技術により超高活性化合物を取り扱えるように設計されております。本施設の開設・稼動により、当社グループがグローバルで構築している研究開発・生産・物流・販売にいたるシームレス・バリュー・チェーンがより強固なものとなります。
- 平成22年6月、日本で、1日1回1錠の服用で効果を発揮する乗物酔い薬「トラベルミン 1」(第2類医薬品)を新発売いたしました。

3) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産等の状況]

- 当四半期末の資産合計は、1兆655億28百万円(前期末より363億81百万円減)となりました。為替変動による円換算額の減少等により、無形固定資産などが減少いたしました。
- 負債合計は6,673億96百万円(前期末より127億73百万円減)となりました。
- 純資産合計は3,981億31百万円(前期末より236億8百万円減)となり、自己資本比率は36.8%(前期末より0.9ポイント減)となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

- 当四半期の営業活動から得たキャッシュ・フローは、281億78百万円(前年同期より287億16百万円増)となりました。税金等調整前四半期純利益は291億85百万円、減価償却費は113億84百万円、売上債権の増加額は114億15百万円、法人税等の支払額は60億79百万円であります。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、50億69百万円の支出(前年同期より77億81百万円減)となりました。そのうち、有形固定資産の取得に33億45百万円を支出いたしました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、311億34百万円の支出(前年同期より188億62百万円増)となりました。配当金の支払いに227億95百万円を支出いたしました。
- 以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、1,014億41百万円(前期末より136億87百万円減)となりました。

4) 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

[連結業績予想]

○第2四半期連結累計期間、通期の連結業績予想については、変更しておりません。

(%表示：通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	416,000	5.3	56,000	14.0	52,500	16.2	34,500	11.6	121.09
通期	810,000	0.9	105,000	21.5	98,500	23.6	65,000	61.1	228.14

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

○本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

○当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競争・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に関するリスク。

なお、上記リスク項目の詳細に関しては、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

5) コーポレートガバナンスに関連する事項

1) 取締役の選任

平成22年6月18日開催の当社第98回定時株主総会において、社外取締役7名を含む11名の取締役が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、取締役候補者については、指名委員会が自ら定めた取締役候補者選任基準に則り選任し、議案として上程いたしました。特に、社外取締役候補者については、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役の要件を満たすとともに、以下の指名委員会が定めた社外取締役の独立性・中立性の要件を満たしております。

「社外取締役の独立性・中立性の要件」

(平成21年1月30日改正)

1. 社外取締役は、以下の要件を満たし、当社および当社の関係会社（以下併せて当社グループという）ならびに特定の企業等から経済的に独立していなければならない。
 - ①社外取締役は、過去5年間に、当社グループから一定額以上の報酬（当社からの取締役報酬を除く）または業務、取引の対価等金銭その他の財産を直接受け取っていない。
 - ア. 一定額以上とは、過去5年間のいずれかの会計年度における受取額が1千万円以上となるものをいう
 - イ. 本人が間接的に受け取っている場合は、その実質について慎重に判断する
 - ②社外取締役は、過去5年間に、以下の企業等（持株会社を含む）の取締役、執行役、その他の役員であってはならない。
 - ア. 過去5年間のいずれかの会計年度に、当社グループとの業務、取引の対価の支払額または受取額が、取引先の売上高の2%以上ある企業等
 - イ. 取引額にかかわらず、当社の監査法人等、当社グループと実質的な利害関係を有する企業等
 - ウ. 当社の大株主（発行済株式総数の10%以上の保有）である企業等
 - エ. 当社グループが大株主（発行済株式総数の10%以上の保有）となっている企業等
 - ③社外取締役は、前号に定める企業等の取締役、執行役、その他の役員を退任後5年以上経過した場合であっても、当該企業等との関係を以下の点で指名委員会が評価し、独立性・中立性を確保していると判断されなければならない。
 - ア. 社外取締役の当該企業等の株式保有
 - イ. 社外取締役の当該企業等からの退任後の処遇
 - ウ. 当社グループと当該企業等の人的交流
2. 社外取締役は、当社グループの取締役、執行役の近親者またはそれに類する者であってはならない。
 - ①近親者とは、配偶者、3親等までの血族および同居の親族をいう
 - ②それに類する者とは、個人的な利害関係者など、独立取締役としての職務を果たせないと合理的に認められる人間関係を有している者をいう
3. 社外取締役は、第1項に該当する者と生計を一にする利害関係者であってはならない。
4. その他、社外取締役は、独立取締役としての職務を果たせないと合理的に認められる事情を有してはならない。
5. 社外取締役は、本条に定める独立性・中立性の要件を、取締役就任後も継続して確保するものとする。

2) 取締役体制の決定

定時株主総会終了後の取締役会において、取締役議長の選定ならびに指名、監査および報酬委員会の各委員長および委員が選定され、それぞれ就任し、次のとおり取締役の体制が決定されました。

取締役	内藤晴夫	代表執行役社長兼最高経営責任者(CEO)
取締役	三井博行	
取締役	藤吉彰	監査委員会委員
取締役	加納則夫	監査委員会委員
社外取締役	谷川紀彦	取締役議長
社外取締役	安崎暁	指名委員会委員長、報酬委員会委員
社外取締役	宮原諄二	指名委員会委員、報酬委員会委員
社外取締役	矢吹公敏	監査委員会委員
社外取締役	クリスティーナ・アメージャン	監査委員会委員
社外取締役	泉徳治	報酬委員会委員長、指名委員会委員
社外取締役	増田宏一	監査委員会委員長

なお、同日開催された社外取締役だけで構成される社外取締役独立委員会（委員長：矢吹公敏）では、「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針」（以下、本対応方針）について、本対応方針が以下の仕組みを有しており、内容としては現行で継続することを当社取締役会に提案する旨決議いたしました。

- ① 経営陣の恣意性が排除されている。
- ② 本対応方針は、毎年、継続・見直し・廃止が検討される。
- ③ 取締役選任議案をもって、本対応方針に対する株主の皆様のご意向を反映できる。

平成22年7月30日開催の取締役会において、社外取締役独立委員会から提案のあった本対応方針の継続が審議され、承認されました。本件については、同日、「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針の継続について」としてリリースいたしました。

本対応方針の内容については、当社のホームページに掲載しておりますので参照ください。（<http://www.eisai.co.jp/company/governance.html>）

2. その他の情報

1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(1) 簡便な会計処理

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出においては、前連結会計年度末の实地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は20百万円、税金等調整前四半期純利益は675百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,380	69,637
受取手形及び売掛金	213,533	207,219
有価証券	75,384	83,823
商品及び製品	37,007	36,564
仕掛品	16,376	19,676
原材料及び貯蔵品	12,727	11,313
繰延税金資産	39,470	32,457
その他	19,420	19,591
貸倒引当金	△258	△239
流動資産合計	483,042	480,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	84,388	86,525
その他(純額)	68,017	70,117
有形固定資産合計	152,406	156,642
無形固定資産		
のれん	143,119	152,768
販売権	100,283	109,704
技術資産	47,756	50,967
その他	11,745	12,449
無形固定資産合計	302,905	325,890
投資その他の資産		
投資有価証券	60,939	64,797
繰延税金資産	58,965	63,568
その他	7,510	11,255
貸倒引当金	△239	△287
投資その他の資産合計	127,175	139,333
固定資産合計	582,486	621,865
資産合計	1,065,528	1,101,910

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,029	20,314
短期借入金	16,000	24,000
1年内償還予定の社債	39,998	—
未払金	59,469	67,913
未払費用	58,344	59,657
未払法人税等	12,899	6,555
売上割戻引当金	33,243	32,723
その他の引当金	492	556
その他	7,756	8,523
流動負債合計	251,233	220,244
固定負債		
社債	79,989	119,987
長期借入金	263,088	265,824
繰延税金負債	22,102	23,786
退職給付引当金	26,755	26,368
役員退職慰労引当金	1,101	2,723
その他	23,126	21,235
固定負債合計	416,163	459,925
負債合計	667,396	680,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,985	44,985
資本剰余金	56,928	56,928
利益剰余金	419,750	423,756
自己株式	△39,578	△39,574
株主資本合計	482,086	486,096
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,602	4,884
繰延ヘッジ損益	△1,064	△609
為替換算調整勘定	△92,300	△74,436
評価・換算差額等合計	△89,762	△70,160
新株予約権	775	741
少数株主持分	5,032	5,063
純資産合計	398,131	421,740
負債純資産合計	1,065,528	1,101,910

2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	194,671	204,463
売上原価	38,289	43,577
売上総利益	156,381	160,885
返品調整引当金繰入額	52	—
返品調整引当金戻入額	—	35
差引売上総利益	156,328	160,921
販売費及び一般管理費	※1 132,184	※1 128,148
営業利益	24,144	32,773
営業外収益		
受取利息	320	215
受取配当金	469	519
為替差益	541	—
その他	65	90
営業外収益合計	1,397	825
営業外費用		
支払利息	2,060	1,885
為替差損	—	1,453
その他	303	92
営業外費用合計	2,364	3,431
経常利益	23,177	30,167
特別利益		
固定資産売却益	2	27
その他	2	19
特別利益合計	5	46
特別損失		
固定資産処分損	36	48
投資有価証券評価損	—	321
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	654
その他	0	2
特別損失合計	37	1,028
税金等調整前四半期純利益	23,145	29,185
法人税、住民税及び事業税	13,291	12,490
法人税等調整額	△6,674	△2,203
法人税等合計	6,617	10,287
少数株主損益調整前四半期純利益	—	18,898
少数株主利益	178	109
四半期純利益	16,349	18,789

3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,145	29,185
減価償却費	12,122	11,384
のれん償却額	2,221	2,093
その他の損益 (△は益)	1,324	1,490
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,649	△11,415
たな卸資産の増減額 (△は増加)	52	△1,100
仕入債務の増減額 (△は減少)	△819	4,481
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,137	△2,366
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	1,767	2,208
その他	△564	△719
小計	31,463	35,243
利息及び配当金の受取額	832	727
利息の支払額	△1,806	△1,712
法人税等の支払額	△31,027	△6,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	△537	28,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,881	△3,345
無形固定資産の取得による支出	△4,320	△1,038
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,273	△657
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	3,373	803
その他	△2,749	△830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,851	△5,069
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,000	△8,000
配当金の支払額	△19,943	△22,795
その他	△328	△339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,271	△31,134
現金及び現金同等物に係る換算差額	△647	△5,661
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26,307	△13,687
現金及び現金同等物の期首残高	131,527	115,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	105,219	101,441

4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

5) セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、トップマネジメントが定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医薬品事業を日本、米国、欧州、アジア(中国含む)、ニューマーケット(インド、中東等)の5リージョンで構成し、各リージョンの特性に応じた戦略を企画・推進しております。医薬品事業では、主に医療用医薬品の製造・販売を行っております。

当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントごとの売上高および利益(又は損失)に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医薬品事業							
	日本	米国	欧州	アジア	ニュー マーケット	計		
外部顧客に対する売上高	86,172	88,554	11,119	8,758	264	194,868	9,595	204,463
セグメント利益(△損失)	36,809	26,512	1,278	2,090	△62	66,628	4,076	70,704

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品原料・製薬用機械などに係る事業を含んでおります。

(3) 報告セグメントの利益(又は損失)の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差異および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメントの利益計	66,628
「その他」の区分の利益	4,076
研究開発費	△36,028
配分していない販売費及び一般管理費	△1,903
四半期連結損益計算書の営業利益	32,773

(追加情報)

当四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

7) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)												
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">販売諸費</td> <td style="text-align: right;">48,338 百万円</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">39,383 百万円</td> </tr> <tr> <td>給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">16,231 百万円</td> </tr> </table>	販売諸費	48,338 百万円	研究開発費	39,383 百万円	給料及び賞与	16,231 百万円	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">販売諸費</td> <td style="text-align: right;">49,280 百万円</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">36,028 百万円</td> </tr> <tr> <td>給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">15,988 百万円</td> </tr> </table>	販売諸費	49,280 百万円	研究開発費	36,028 百万円	給料及び賞与	15,988 百万円
販売諸費	48,338 百万円												
研究開発費	39,383 百万円												
給料及び賞与	16,231 百万円												
販売諸費	49,280 百万円												
研究開発費	36,028 百万円												
給料及び賞与	15,988 百万円												

証券コード： 4523

2010.6

参 考 資 料

平成 23 年 3 月期第 1 四半期決算

2010 年 7 月 30 日

お問い合わせ

エーザイ株式会社

PR 部・IR 部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に関するリスク。

目次

1 . 連結財務ハイライト	1
2 . 連結損益計算書	3
3 . 連結キャッシュ・フロー計算書	4
4 . セグメント情報	5
5 . 連結貸借対照表	10
6 . 連結四半期業績の推移	12
7 . 個別情報	16
8 . 主なイベント	18
9 . 主要開発品	19

- * 当資料中の数字は、四捨五入で表示しております。
- * 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりであります。
- * 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

為替レート

		米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)	中国 (円/元)
2010年3月期 第1四半期	期中平均レート	97.32	132.57	150.77	14.25
	期末日レート	96.01	135.53	159.54	14.05
2010年3月期	期中平均レート	92.84	131.15	148.25	13.57
	期末日レート	93.04	124.92	140.40	13.63
2011年3月期 第1四半期	期中平均レート	92.00	116.99	136.98	13.48
	期末日レート	88.48	107.81	133.07	13.03
2011年3月期	予想レート	90.00	125.00	145.00	13.00

【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方に基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の減価償却費、減損損失（投資有価証券評価損含む）という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

- * キャッシュ・インカム
成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。

算式：当期純損益 + 有形・無形固定資産減価償却費 + インプロセス研究開発費 + のれん償却額
+ 減損損失（投資有価証券評価損含む）

- * 1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）
算式：キャッシュ・インカム ÷ 発行済株式数（自己株式控除後）

【セグメント情報について】

セグメント情報については、当四半期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。これに伴い、本資料のセグメント情報に関する前年同期と比較した指標および2010年3月期の金額を「参考値」として表示しております。

1. 連結財務ハイライト

1) 損益計算書項目

(億円)

	第1四半期			通期	
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期	2011年 3月期(予)
売上高	1,947	2,045	105.0	8,032	8,100
売上原価	383	435	113.6	1,607	1,690
研究開発費	394	360	91.5	1,791	1,570
販売費・一般管理費	928	921	99.3	3,769	3,790
営業利益	241	328	135.7	864	1,050
経常利益	232	302	130.2	797	985
四半期(当期)純利益	163	188	114.9	403	650
キャッシュ・インカム	307	326	106.2	1,264	1,200
			前年同期差		
1株当たり配当金(DPS/円)	-	-	-	150.0	150.0
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	57.4	65.9	8.6	141.6	228.1
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	107.7	114.4	6.6	443.7	421.2

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	第1四半期			通期
	2010年 3月期	2011年 3月期	増減額	2010年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5	282	287	1,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	129	51	78	698
財務活動によるキャッシュ・フロー	123	311	189	492
現金及び現金同等物の期末残高	1,052	1,014	38	1,151
フリー・キャッシュ・フロー	107	239	346	529

*フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(買収などを含む))

3) 貸借対照表項目

(億円)

	2010年		増減額
	3月末	6月末	
総資産	11,019	10,655	364
負債	6,802	6,674	128
社債	1,200	1,200	0
借入金	2,898	2,791	107
純資産	4,217	3,981	236
自己資本	4,159	3,923	236
自己資本比率(%)	37.7	36.8	0.9
負債比率(ネットDER/倍)	0.6	0.6	0.0

*負債比率(ネットDER)=(有利子負債(借入金+社債)-現預金-有価証券)/自己資本

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

	第1四半期			通期
	2010年 3月期	2011年 3月期	増減額	2010年 3月期
資本的支出額	58	35	23	287
有形固定資産	48	25	23	229
無形固定資産	10	10	0	58
減価償却費	121	114	7	489

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) セグメント情報

(1) 報告セグメント別売上高

	第1四半期		
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
日本 医薬品事業	816	862	105.6
米国 医薬品事業	830	886	106.7
欧州 医薬品事業	124	111	90.0
アジア 医薬品事業	75	88	117.4
ニューマーケット 医薬品事業	2	3	130.3
その他	101	96	95.1
連結売上高	1,947	2,045	105.0

*外部顧客に対する売上高であります。

(2) 報告セグメント別利益(又は損失)

	第1四半期		
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
日本 医薬品事業	344	368	107.1
米国 医薬品事業	221	265	119.8
欧州 医薬品事業	20	13	63.9
アジア 医薬品事業	21	21	100.2
ニューマーケット 医薬品事業	0	1	-
「その他」の区分の利益	47	41	86.1
研究開発費	394	360	91.5
配分していない販売費・一般管理費	18	19	108.1
連結営業利益	241	328	135.7

*当社グループは、医薬品事業を日本、米国、欧州、アジア(中国含む)、ニューマーケット(インド、中東等)で構成し、各リージョンの特性に応じた戦略を企画・推進しており、医薬品事業では、主に医療用医薬品の製造・販売を行っております。当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしています。

2. 連結損益計算書

	第1四半期						通期	
	2010年	売上比	2011年	売上比	前年同期比	増減額	2010年	売上比
	3月期	%	3月期	%	%		3月期	%
売上高	1,947	100.0	2,045	100.0	105.0	98	8,032	100.0
売上原価	383	19.7	435	21.3	113.6	52	1,607	20.0
売上総利益	1,563	80.3	1,609	78.7	102.9	46	6,424	80.0
研究開発費	394	20.2	360	17.6	91.5	34	1,791	22.3
販売費・一般管理費	928	47.7	921	45.1	99.3	7	3,769	46.9
人件費	213	10.9	205	10.0	96.6	7	834	10.4
販売費	563	28.9	573	28.0	101.8	10	2,340	29.1
管理費他	152	7.8	143	7.0	93.6	10	595	7.4
営業利益	241	12.4	328	16.0	135.7	86	864	10.8
営業外収益	14	0.7	8	0.4		6	24	0.3
営業外費用	24	1.2	34	1.7		11	91	1.1
経常利益	232	11.9	302	14.8	130.2	70	797	9.9
特別利益	0	0.0	0	0.0		0	1	0.0
特別損失	0	0.0	10	0.5		10	55	0.7
税金等調整前四半期純利益	231	11.9	292	14.3	126.1	60	743	9.2
法人税、住民税及び事業税	133	6.8	125	6.1		8	268	3.3
法人税等調整額	67	3.4	22	1.1		45	66	0.8
少数株主利益	2	0.1	1	0.1		1	5	0.1
四半期純利益	163	8.4	188	9.2	114.9	24	403	5.0

*売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

< キャッシュ・インカム >

四半期純利益	163	8.4	188	9.2	114.9	24	403	5.0
有形・無形固定資産減価償却費	71		67				298	
買収に伴う無形固定資産減価償却費	50		47				191	
インプロセス研究開発費	-		-				239	
のれん償却額	22		21				85	
減損損失（投資有価証券評価損含む）	-		3				49	
キャッシュ・インカム	307	15.8	326	15.9	106.2	19	1,264	15.7

< コメント >

売上高	・ アリセプト（81億円増）、ヒュミラ（18億円増）の増加 ・ バリエット/アシフェックス（14億円減）の減少
売上原価率の上昇	・ 日本の薬価改定、為替の影響、品目ミックスの変化等
研究開発費の減少	・ 為替の影響等
販売費・一般管理費の減少	・ 管理費用の効率化等
営業外損益	・ 為替差損の発生（15億円）
特別損益	・ 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響（7億円）

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	第1四半期		増減額
	2010年 3月期	2011年 3月期	
税金等調整前四半期純利益	231	292	60
減価償却費	121	114	7
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	74	80	6
未払金・未払費用等の増減額	11	24	12
その他	47	51	3
(小計)	315	352	38
利息等の受取及び支払額	10	10	0
法人税等の支払額	310	61	249
営業活動によるキャッシュ・フロー	5	282	287
資本的支出等(買収などを含む)	102	43	59
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	1	1	0
その他	28	9	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	129	51	78
短期借入金の純増減額	80	80	160
配当金の支払額	199	228	29
その他	3	3	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	123	311	189
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	57	50
現金及び現金同等物の増減額	263	137	126
現金及び現金同等物の期首残高	1,315	1,151	164
現金及び現金同等物の期末残高	1,052	1,014	38
フリー・キャッシュ・フロー	107	239	346

*フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(買収などを含む))

<コメント>

営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・前年度の課税所得減少による法人税等の当期支払額の減少

投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・有形・無形固定資産の取得による支出の減少

財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・短期借入金の返済、配当金の支払額の増加

4. セグメント情報

1) 日本 医薬品事業 (エーザイ ジャパン)

(億円)

	第1四半期			通期	
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期	2011年 3月期(予)
売上高	816	862	105.6		
セグメント利益	344	368	107.1		
日本 売上高明細					
医療用医薬品	743	771	103.8		
一般用医薬品等	42	45	108.2		
ジェネリック医薬品 (エルメッド エーザイ)	17	30	175.0		
診断薬 (三光純薬)	14	15	107.1		
日本 医療用医薬品 主力品売上高 (自社)					
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	234	253	108.0	936	1,090
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	134	151	112.6	538	550
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	83	80	95.3	313	300
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	40	31	77.9	142	120
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	27	29	107.2	108	120
ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体 ヒュミラ	12	26	215.6	66	140
経口抗凝固剤 ワーファリン	22	24	109.3	87	95
筋緊張改善剤 ミオナール	21	18	86.4	75	70
非イオン性造影剤 イオメロン	19	18	91.4	70	65
日本 一般用医薬品等 主力品グループ売上高 (自社)					
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	23	24	104.1	105	110
メコバラミン主剤「ナボリンS」等 ナボリングループ	6	8	142.4	23	25

2) 米国 医薬品事業

		第1四半期		
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	830	886	106.7 <112.9>
セグメント利益	億円	221	265	119.8
米国 主力品売上高(自社)				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万米ドル)	427 (438)	502 (545)	117.6 <124.4>
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	億円 (百万米ドル)	198 (203)	170 (185)	85.8 <90.8>
制吐剤 Aloxi	億円 (百万米ドル)	95 (97)	88 (96)	93.2 <98.6>
DNAメチル化阻害剤 Dacogen	億円 (百万米ドル)	42 (43)	43 (47)	103.6 <109.6>
血液凝固阻止剤 Fragmin	億円 (百万米ドル)	32 (33)	43 (47)	136.3 <144.2>

3) 欧州 医薬品事業

		第1四半期		
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	124	111	90.0 <101.1>
セグメント利益	億円	20	13	63.9
欧州 主力品売上高(自社)				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	72	58	80.7 <90.7>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	21	18	88.1 <98.4>
てんかん治療剤 Zonegran	億円	10	11	107.6 <120.5>

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

4) アジア 医薬品事業

		第1四半期		
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	75	88	117.4 <119.5>
セグメント利益	億円	21	21	100.2
アジア 主力品売上高(自社)				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	億円	18	23	123.8 <129.7>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	16	17	107.6 <106.3>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	14	13	94.4 <94.5>
ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体 ヒュミラ	億円	5	8	182.7 <180.7>
肝臓疾患用剤・アレルギー用剤 強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン錠	億円	7	8	126.1 <133.2>

<参考> 中国 医薬品事業

		第1四半期		
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	34	42	124.5 <131.6>
中国 主力品売上高(自社)				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	億円 (百万元)	15 (108)	20 (149)	130.7 <138.1>
肝臓疾患用剤・アレルギー用剤 強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン錠	億円 (百万元)	6 (45)	8 (61)	126.7 <133.9>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円 (百万元)	4 (26)	4 (26)	96.1 <101.6>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万元)	2 (14)	3 (22)	148.4 <156.9>

5) ニューマーケット 医薬品事業

		第1四半期		
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	2	3	130.3 <130.3>
セグメント利益(損失)	億円	0	1	-
ニューマーケット 主力品売上高(自社)				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	0	0	121.0 <119.8>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	0	1	146.0 <144.6>

*前年同期比の<>内は為替の影響を除いた数値であります。

6) 主力品売上高(自社)

(1) アリセプト(アルツハイマー型認知症治療剤)

		第1四半期			通期
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期
日本	億円	234	253	108.0	936
米国	億円 (百万米ドル)	427 (438)	502 (545)	117.6 <124.4>	1,947 (2,097)
欧州	億円	72	58	80.7 <90.7>	279
英国	億円 (百万ポンド)	15 (10)	17 (13)	117.0 <128.8>	53 (36)
フランス	億円 (百万ユーロ)	35 (27)	28 (24)	79.8 <90.5>	143 (109)
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	21 (16)	12 (10)	57.2 <64.8>	83 (63)
アジア	億円	16	17	107.6 <106.3>	66
中国	億円 (百万元)	2 (14)	3 (22)	148.4 <156.9>	14 (106)
ニューマーケット	億円	0	0	121.0 <119.8>	1
総計	億円	748	829	110.9	3,228

*2011年3月期の売上高予想の総計は3,280億円を見込んでおります。

(2) パリエット/アシフェックス(プロトンポンプ阻害剤)

		第1四半期			通期
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期
日本	億円	134	151	112.6	538
米国	億円 (百万米ドル)	198 (203)	170 (185)	85.8 <90.8>	810 (872)
欧州	億円	21	18	88.1 <98.4>	82
英国	億円 (百万ポンド)	6 (4)	5 (4)	93.1 <102.5>	22 (15)
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	4 (3)	4 (4)	108.1 <122.6>	16 (12)
イタリア	億円 (百万ユーロ)	9 (7)	6 (5)	67.9 <77.0>	36 (28)
アジア	億円	14	13	94.4 <94.5>	48
中国	億円 (百万元)	4 (26)	4 (26)	96.1 <101.6>	11 (80)
ニューマーケット	億円	0	1	146.0 <144.6>	2
総計	億円	367	353	96.1	1,480

*2011年3月期の売上高予想の総計は1,340億円を見込んでおります。

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

(3) がん関連領域製品

		第1四半期			通期
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期
Aloxi (制吐剤)					
米国	億円 (百万米ドル)	95 (97)	88 (96)	93.2 <98.6>	383 (413)
Dacogen (DNAメチル化阻害剤)					
米国	億円 (百万米ドル)	42 (43)	43 (47)	103.6 <109.6>	154 (166)
Fragmin (血液凝固阻止剤)					
米国	億円 (百万米ドル)	32 (33)	43 (47)	136.3 <144.2>	145 (156)
その他	億円	29	28	97.1	116
総計	億円	197	203	102.9	799

(4) ヒュミラ (ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体)

		第1四半期			通期
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期
日本	億円	12	26	215.6	66
アジア	億円	5	8	182.7 <180.7>	23
総計	億円	17	35	206.6	89

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

7) 海外売上高

	第1四半期			通期
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期
海外売上高	1,099	1,142	103.9	4,655
海外売上高比率 (%)	56.5	55.9	-	58.0
< 参考 >				
所在地別売上高 海外計	1,039	1,090	104.9	4,434
所在地別売上高 海外比率 (%)	53.4	53.3	-	55.2

*外部顧客に対する売上高であります。

*所在地別売上高海外計は、海外子会社の売上高の総計であります。

5. 連結貸借対照表

1) 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2010年 3月末	構成比 %	2010年 6月末	構成比 %	前期末比 %	増減額
流動資産	4,800	43.6	4,830	45.3	100.6	30
現金及び預金	696		694			3
受取手形及び売掛金	2,072		2,135			63
有価証券	838		754			84
たな卸資産	676		661			14
繰延税金資産	325		395			70
その他	196		194			2
貸倒引当金	2		3			0
固定資産	6,219	56.4	5,825	54.7	93.7	394
有形固定資産	1,566	14.2	1,524	14.3	97.3	42
建物及び構築物	865		844			21
その他	701		680			21
無形固定資産	3,259	29.6	3,029	28.4	92.9	230
のれん	1,528		1,431			96
販売権	1,097		1,003			94
技術資産	510		478			32
その他	124		117			7
投資その他の資産	1,393	12.6	1,272	11.9	91.3	122
投資有価証券	648		609			39
繰延税金資産	636		590			46
その他	113		75			37
貸倒引当金	3		2			0
資産合計	11,019	100.0	10,655	100.0	96.7	364

<コメント>

資産合計

- ・ 為替の変動に伴う海外子会社資産の円換算による減少
- ・ 無形固定資産の償却による減少

2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2010年 3月末	構成比 %	2010年 6月末	構成比 %	前期末比 %	増減額
流動負債	2,202	20.0	2,512	23.6	114.1	310
支払手形及び買掛金	203		230			27
短期借入金	240		160			80
1年内償還予定の社債	-		400			400
未払金・未払費用	1,276		1,178			98
未払法人税等	66		129			63
売上割戻引当金	327		332			5
その他	91		82			8
固定負債	4,599	41.7	4,162	39.1	90.5	438
社債	1,200		800			400
長期借入金	2,658		2,631			27
繰延税金負債	238		221			17
退職給付引当金	264		268			4
役員退職慰労引当金	27		11			16
その他	212		231			19
負債合計	6,802	61.7	6,674	62.6	98.1	128
株主資本	4,861	44.1	4,821	45.2	99.2	40
資本金	450		450			-
資本剰余金	569		569			-
利益剰余金	4,238		4,198			40
自己株式	396		396			0
評価・換算差額等	702	6.4	898	8.4	127.9	196
その他有価証券評価差額金	49		36			13
繰延ヘッジ損益	6		11			5
為替換算調整勘定	744		923			179
新株予約権	7	0.1	8	0.1	104.7	0
少数株主持分	51	0.5	50	0.5	99.4	0
純資産合計	4,217	38.3	3,981	37.4	94.4	236
負債純資産合計	11,019	100.0	10,655	100.0	96.7	364

<コメント>

負債合計

- ・短期借入金の返済による減少

純資産合計

- ・海外子会社のB/S換算レートの円高影響による減少

6. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

	2010年3月期				2011年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
売上高	1,947	2,003	2,095	1,987	2,045
売上原価	383	406	426	392	435
研究開発費	394	413	361	623	360
販売費・一般管理費	928	935	948	959	921
営業利益	241	250	359	13	328
経常利益(損失)	232	220	349	4	302
四半期純利益(損失)	163	146	230	136	188
キャッシュ・インカム	307	291	373	293	326
1株当たり四半期純利益(損失)(EPS/円)	57.4	51.2	80.7	47.7	65.9
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	107.7	102.1	131.1	102.8	114.4

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

	2010年3月期				2011年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5	328	271	486	282
投資活動によるキャッシュ・フロー	129	98	52	420	51
財務活動によるキャッシュ・フロー	123	33	8	345	311
現金及び現金同等物の期末残高	1,052	1,184	1,427	1,151	1,014
フリー・キャッシュ・フロー	107	265	199	172	239

*フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(買収などを含む))

3) 貸借対照表項目

	2010年3月期				2011年3月期
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
総資産	11,274	11,099	11,403	11,019	10,655
負債	6,970	6,864	7,083	6,802	6,674
社債	1,209	1,209	1,200	1,200	1,200
借入金	3,072	3,001	3,235	2,898	2,791
純資産	4,304	4,235	4,320	4,217	3,981
自己資本	4,251	4,181	4,264	4,159	3,923
自己資本比率(%)	37.7	37.7	37.4	37.7	36.8
負債比率(ネットDER/倍)	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6

*負債比率(ネットDER) = (有利子負債(借入金 + 社債) - 現預金 - 有価証券) / 自己資本

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

	2010年3月期				2011年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
資本的支出額	58	72	60	97	35
有形固定資産	48	59	42	80	25
無形固定資産	10	13	18	17	10
減価償却費	121	124	123	121	114

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) 主力品売上高(自社)

(1) アリセプト

		2010年3月期				2011年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	234	223	269	210	253
米国	億円 (百万米ドル)	427 (438)	501 (533)	455 (507)	564 (619)	502 (545)
欧州	億円	72	71	75	61	58
英国	億円 (百万ポンド)	15 (10)	13 (9)	12 (8)	13 (9)	17 (13)
フランス	億円 (百万ユーロ)	35 (27)	36 (27)	38 (29)	33 (27)	28 (24)
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	21 (16)	22 (16)	25 (19)	15 (12)	12 (10)
アジア	億円	16	16	16	18	17
中国	億円 (百万元)	2 (14)	4 (27)	3 (26)	5 (38)	3 (22)
ニューマーケット	億円	0	0	0	0	0
総計	億円	748	812	815	853	829

(2) パリエット/アシフェックス

		2010年3月期				2011年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	134	128	169	107	151
米国	億円 (百万米ドル)	198 (203)	206 (220)	208 (231)	197 (217)	170 (185)
欧州	億円	21	20	21	20	18
英国	億円 (百万ポンド)	6 (4)	6 (4)	6 (4)	5 (3)	5 (4)
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (4)
イタリア	億円 (百万ユーロ)	9 (7)	9 (7)	9 (7)	9 (7)	6 (5)
アジア	億円	14	11	12	11	13
中国	億円 (百万元)	4 (26)	2 (12)	3 (20)	3 (22)	4 (26)
ニューマーケット	億円	0	0	0	1	1
総計	億円	367	366	411	336	353

(3) がん関連領域製品

		2010年3月期				2011年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
Aloxi						
米国	億円 (百万米ドル)	95 (97)	95 (101)	87 (97)	106 (117)	88 (96)
Dacogen						
米国	億円 (百万米ドル)	42 (43)	37 (40)	38 (42)	38 (42)	43 (47)
Fragmin						
米国	億円 (百万米ドル)	32 (33)	31 (33)	37 (41)	46 (50)	43 (47)
その他	億円	29	30	27	30	28
総計	億円	197	193	188	220	203

(4) ヒュミラ

		2010年3月期				2011年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	12	16	20	18	26
アジア	億円	5	5	6	7	8
総計	億円	17	21	26	25	35

7. 個別情報

1) 個別財務ハイライト

(1) 損益計算書項目

	第1四半期			通期	
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期	2011年 3月期(予)
	(億円)				
売上高	1,092	1,160	106.2	4,447	4,540
売上原価	209	225	107.9	823	900
研究開発費	368	328	89.2	1,453	1,400
販売費・一般管理費	317	308	97.3	1,239	1,370
営業利益	199	299	150.3	933	870
経常利益	192	279	145.6	886	820
四半期(当期)純利益	148	184	124.4	573	585

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

(2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第1四半期			通期
	2010年 3月期	2011年 3月期	増減額	2010年 3月期
	(億円)			
営業活動によるキャッシュ・フロー	207	342	135	715
投資活動によるキャッシュ・フロー	99	37	62	313
財務活動によるキャッシュ・フロー	122	310	189	387
現金及び現金同等物の期末残高	88	111	23	117
フリー・キャッシュ・フロー	174	317	143	583

*フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(買収などを含む))

(3) 貸借対照表項目

	2010年		
	3月末	6月末	増減額
	(億円)		
総資産	9,511	9,522	11
負債	4,498	4,568	70
社債	1,200	1,200	0
借入金	2,340	2,260	80
純資産	5,013	4,954	59
自己資本	5,006	4,946	59
自己資本比率(%)	52.6	51.9	0.7

2) 売上高の状況

	第1四半期			(億円)
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	通期 2010年 3月期
売上高	1,092	1,160	106.2	4,447
医療用医薬品	743	771	103.8	
一般用医薬品等	42	46	108.0	
工業所有権等収益	175	215	122.4	
医薬品輸出	128	125	97.5	
その他	4	4	107.9	

8. 主なイベント

年月	概要
2010年4月	<ul style="list-style-type: none"> Almirall社と、上部消化管機能改善剤「cinitapride」の中国におけるライセンス契約を締結 <4月16日リリース> 帯状疱疹後神経痛治療剤「リリカ カプセル」、日本で製造販売承認を取得 <4月16日リリース>
2010年5月	<ul style="list-style-type: none"> プロトンポンプ阻害剤「パリエット」、日本で逆流性食道炎に関する1日2回投与の用法・用量の追加を申請 <5月6日リリース> てんかん治療剤「ルフィナマイド（一般名）」、日本でレノックス・ガスター-症候群（希少疾患）を対象としたフェーズ 試験を開始 <5月7日リリース> カナダに医薬品販売子会社を設立 <5月11日リリース> 頻脈性不整脈治療剤「タンボコール錠」、日本で小児における効能・効果および用法・用量の追加承認を取得 <5月13日リリース> 当社使用人に対してストックオプションとして新株予約権を発行する件 <5月14日リリース> 米国ノース・カロライナ工場に抗がん剤の注射剤生産棟を開設 <5月20日リリース> 米国臨床腫瘍学会年次総会で抗がん剤「E7389（エリブリン）」の局所進行性・転移性乳がんに対する最新のフェーズ 試験結果を中心にエーザイのがん領域の開発品・製品に関する最新試験データを発表 <5月24日リリース>
2010年6月	<ul style="list-style-type: none"> 抗がん剤「E7389（エリブリン）」、米国で優先審査品目に指定 <6月1日リリース> プロトンポンプ阻害剤「アシフェックス エクステンドリリース50 mg製剤」、米国において承認申請が受理 <6月3日リリース> 抗がん剤「E7389（エリブリン）」、局所進行性・転移性乳がん患者様を対象としたフェーズ 試験において全生存期間を延長 <6月7日リリース> 米国子会社Eisai Inc.、スイスのHelsinn Healthcare S.A.と新規の制吐剤配合剤に関する米国におけるライセンス契約を締結 <6月9日リリース> 帯状疱疹後神経痛治療剤「リリカ カプセル」、日本で新発売（6月22日発売） <6月11日リリース> ストックオプション（新株予約権）の割当に関するお知らせ <6月18日リリース> プロトンポンプ阻害薬「パリエット」、日本で3剤併用によるヘリコバクター・ピロリ除菌療法の効能・効果の追加承認を取得 <6月18日リリース> 抗がん剤「E7389（エリブリン）」、日本で優先審査品目に指定 <6月23日リリース> プロトンポンプ阻害剤「パリエット」、日本で非びらん性胃食道逆流症に関する効能・効果および用法・用量の追加承認を取得 <6月24日リリース> 1日1回1錠で効く速崩タイプの乗物酔い薬「トラベルミン 1」を日本で新発売（6月30日発売） <6月29日リリース>
2010年7月	<ul style="list-style-type: none"> 米国子会社Eisai Inc.、米国のArena Pharmaceuticals, Inc.のスイス子会社Arena Pharmaceuticals GmbH と肥満症治療剤「lorcaserin」に関する米国におけるライセンス契約を締結 <7月1日リリース> ストックオプション（新株予約権）の発行内容等確定に関するお知らせ <7月5日リリース> 肥満症治療剤「lorcaserin」に関する有意な体重減少および減少後の体重維持改善を示した2年間のBLOOM試験結果が<i>New England Journal of Medicine</i>誌に掲載 <7月15日リリース> てんかん治療剤「BANZEL」、米国において経口懸濁液の剤形追加承認申請が受理 <7月20日リリース> 中等度・高度アルツハイマー型認知症に対する高用量製剤「アリセプト錠23mg」、米国で承認を取得 <7月24日リリース>

9. 主要開発品

1) 日米欧の開発品

< 開発品一覧 >

品目	効能効果等 *1	開発ステージ	領域
承認取得品			
タンボコール (小児における頻脈性不整脈)	効能、用法	(日)承認	血管・免疫反応
パリエット (3剤併用のヘリコバクター・ピロリ除菌療法)	効能	(日)承認	消化器
パリエット (非びらん性胃食道逆流症)	効能、用法	(日)承認	消化器
アリセプト (高用量製剤 < 23mg 錠 >)	用法、剤形	(米)承認	神経
申請中・申請準備中開発品			
アリセプト (脳血管性認知症)	効能	(米)申請 (欧)申請準備中	神経
E2014 (痙性斜頸)		(日)申請	神経
KES524 (肥満症)		(日)申請	他疾患
ゾネグラン (口腔内崩壊錠)	剤形	(欧)申請	神経
E7389 (乳がん)		(日、米、欧、スイス、 シンガポール) 申請	がん・支持療法
ヒュミラ (クローン病)	効能	(日)申請	血管・免疫反応
ヒュミラ (強直性脊椎炎)	効能	(日)申請	血管・免疫反応
パリエット/アシフェックス (エクステンドリリース 50mg 製剤)	剤形	(米)申請 (欧)申請手続き中	消化器
パリエット (逆流性食道炎)	用法	(日)申請	消化器
BANZEL (経口懸濁液)	剤形	(米)申請	神経
臨床試験中開発品			
E2007 (てんかん)		(米欧)P (日)P	神経
E2080 (レノックスガスター症候群)		(日)P	神経
E5564 (重症敗血症)		(国際共同試験)P	血管・免疫反応
E6014 (口腔粘膜炎)		(米)P	がん・支持療法
MORAb-003 (卵巣がん)		(国際共同試験)P	がん・支持療法
SEP-190 (不眠症)		(日)P	神経
T-614 (関節リウマチ)		(日)P	血管・免疫反応
ゾネグラン (てんかん小児適応)	効能	(欧)P	神経
ゾネグラン (てんかん単剤療法)	効能	(欧)P	神経
Dacogen (急性骨髄性白血病(AML))	効能	(米)P	がん・支持療法
ヒュミラ (若年性関節リウマチ)	効能	(日)P	血管・免疫反応
ヒュミラ (関節の構造的損傷の防止)	効能	(日)P	血管・免疫反応
E0302 (筋萎縮性側索硬化症(ALS))	効能	(日)P /	神経
E7101 (子宮頸部異形成)		(米)P /	がん・支持療法
AS-3201 (糖尿病性神経障害)		(米欧)P /	神経
ヒュミラ (潰瘍性大腸炎)	効能	(日)P /	血管・免疫反応
E2007 (神経因性疼痛)		(米欧)P	神経
E2007 (多発性硬化症)		(欧)P	神経
E2007 (片頭痛予防)		(米)P	神経
E5501 (特発性血小板減少性紫斑病(ITP))		(米)P	がん・支持療法
E5501 (肝疾患に伴う血小板減少症(TLD))		(米)P	がん・支持療法
E5555 (急性冠症候群)		(日米欧)P	血管・免疫反応
E5555 (アテローム血栓症)		(日米欧)P	血管・免疫反応
E6201 (乾癬)		(米欧)P	血管・免疫反応
E7080 (甲状腺がん)		(米欧)P	がん・支持療法
E7080 (子宮内膜がん)		(米)P	がん・支持療法
E7080 (メラノーマ)		(米)P	がん・支持療法
E7389 (非小細胞肺癌がん)		(米)P	がん・支持療法
E7389 (前立腺がん)		(米欧)P	がん・支持療法
E7389 (肉腫)		(欧)P	がん・支持療法
E7820 (大腸がん)		(米)P	がん・支持療法
E7850 (前立腺がん等)		(米)P	がん・支持療法
MORAb-009 (中皮腫)		(米欧)P	がん・支持療法
ONTAK (メラノーマ)	効能	(米)P	がん・支持療法
アリセプト (レビー小体型認知症)	効能	(日)P	神経
パリエット (機能的ディスベプシア)	効能	(日)P	消化器

* 1 効能：効能効果追加、用法：用法用量追加、剤形：剤形追加
：2010年4月以降の進捗

P = Phase : 臨床試験段階

(1) がん、支持療法

開発品コード：**E7389** 一般名：**エリブリン** (抗がん剤/微小管ダイナミクス阻害剤)

[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成誘導体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんの効果を目指しています。米国、日本で優先審査品目に指定されました。

乳がん	スイス 申請(2009年7月) シンガポール 申請(2009年7月) 米国 申請(2010年3月) 受理(同年5月) 欧州 申請(2010年3月) 受理(同年5月) 日本 申請(2010年3月)	注射剤
非小細胞肺癌	米国 P	注射剤
前立腺がん	米国 P 欧州 P	注射剤
肉腫	欧州 P	注射剤

開発品コード：**E7820** (抗がん剤/2インテグリン発現抑制剤)

[概要] 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。

大腸がん	米国 P	経口剤
------	------	-----

開発品コード：**E7080** (抗がん剤/VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤)

[概要] 血管内皮増殖因子(VEGF)の受容体であるVEGFR2のチロシンキナーゼを阻害する、血管新生阻害剤です。各種固形がんの効果を目指しています。

甲状腺がん	米国 P 欧州 P	経口剤
子宮内膜がん	米国 P	経口剤
メラノーマ	米国 P	経口剤

開発品コード：**MORAb-003** 一般名：**farletuzumab** (抗がん剤/モノクローナル抗体)

[概要] 葉酸受容体 (FRA) に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。欧米に続き、日本で卵巣がんを対象としたフェーズ 試験を開始しました。本試験は国際共同試験として取り組んでいます。

卵巣がん	国際共同試験 P	2012年度申請予定	注射剤
------	----------	------------	-----

開発品コード：**MORAb-009** 一般名：**amatuximab** (抗がん剤/モノクローナル抗体)

[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

中皮腫	米国 P 欧州 P	注射剤
-----	--------------	-----

製品名：**Dacogen** 開発品コード：**E7373** 一般名：**デシタピン** (DNAメチル化阻害剤)

[概要] DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用を有します。すでに米国で骨髄異形成症候群(MDS)治療剤として承認を取得しています。

【効能・効果追加】急性骨髄性白血病(AML)	米国 P	2010年度申請予定	注射剤
------------------------	------	------------	-----

開発品コード：**E7850** 一般名：**irofulven** (抗がん剤/DNA合成阻害剤)

[概要] DNA合成阻害により各種固形がんの効果を目指しています。

前立腺がん等	米国 P	注射剤
--------	------	-----

: 2010年4月以降の進捗

*: 申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

開発品コード：**E5501 / AKR-501** （血小板減少症治療剤 / トロンボポエチン受容体作動剤）

[概要] トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。

特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)	米国 P	2012年度申請予定	経口剤
肝疾患に伴う血小板減少症 (TLD)	米国 P		経口剤

開発品コード：**E7101** 一般名：**amolimogene bepiplasmid** （子宮頸部異形成治療剤 / 治療用DNAワクチン）

[概要] 子宮頸部異形成等を引き起こす原因の1つであるヒトパピローマウイルス (HPV) に対する、治療用DNAワクチンです。

子宮頸部異形成	米国 P /		注射剤
---------	--------	--	-----

開発品コード：**E6014** 一般名：**グルタミン** （口腔粘膜炎治療剤 / グルタミン懸濁液）

[概要] グルタミン懸濁液製剤です。化学療法に伴う口腔粘膜炎に対して保護作用を示します。

口腔粘膜炎	米国 P		外用剤
-------	------	--	-----

製品名：**ONTAK** 開発品コード：**E7272** 一般名：**denileukin diftitox**

（抗がん剤 / インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤）

[概要] インターロイキン2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。すでに米国でCD25 (IL-2受容体の構成要素) 陽性の皮膚T細胞リンパ腫治療剤として承認を取得しています。

【効能・効果追加】メラノーマ	米国 P		注射剤
----------------	------	--	-----

(2) 神経

製品名：**アリセプト** 開発品コード：**E2020** 一般名：**ドネペジル** （アルツハイマー型認知症治療剤）

[概要] 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症 (AD) の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、すでに世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。

【用法・用量、剤形追加】高用量製剤 < 23mg錠 >	米国	承認 (2010年7月)	経口剤
【効能・効果追加】脳血管性認知症	米国 欧州	申請 (2002年9月) 受理 (同年11月) 申請準備中	経口剤
【効能・効果追加】レビー小体型認知症	日本	P	経口剤

開発品コード：**E2007** 一般名：**ペランパネル** （AMPA受容体拮抗剤）

[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。神経疾患に対し様々な効果を期待しています。

てんかん	米国 P 欧州 P 日本 P	2011年度申請予定	経口剤
神経因性疼痛	米国 P 欧州 P		経口剤
多発性硬化症	欧州	P	経口剤
片頭痛予防	米国	P	経口剤

: 2010年4月以降の進捗

* : 申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

開発品コード：**AS-3201** 一般名：**ラニレスタット**（糖尿病合併症治療剤/アルドース還元酵素阻害剤）

【概要】アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制します。糖尿病の代表的な合併症である糖尿病性神経障害の治療剤として開発を進めています。

糖尿病性神経障害	米国 P / 欧州 P /	経口剤
----------	------------------	-----

製品名：**ゾネグラン** 開発品コード：**E2090** 一般名：**ゾニサミド**（てんかん治療剤）

【概要】幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高いてんかん治療剤です。すでに成人部分てんかんを対象に併用療法の適応を取得しています。

【剤形追加】口腔内崩壊錠	欧州	申請（2009年3月）受理（同年3月）	経口剤	
【効能・効果追加】てんかん小児適応	欧州	P	2011年度申請予定	経口剤
* 【効能・効果追加】てんかん単剤療法	欧州	P	2011年度申請予定	経口剤

開発品コード：**E0302** 一般名：**メコバラミン**（筋萎縮性側索硬化症）

【概要】メコバラミン（生体内補酵素型ビタミンB₁₂）製剤であり、傷ついた末梢神経を修復する作用があります。すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われており、新たに、筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療剤をめざしています。

筋萎縮性側索硬化症（ALS）	日本	P /	注射剤
----------------	----	-----	-----

開発品コード：**E2014** 一般名：**B型ボツリヌス毒素**（痙性斜頸治療剤）

【概要】神経筋接合部でコリン作動性神経終末に作用し、アセチルコリンの遊離を阻害することで筋を弛緩させます。痙性斜頸治療剤をめざしています。

痙性斜頸	日本	申請（2006年12月）	注射剤
------	----	--------------	-----

開発品コード：**SEP-190** 一般名：**エソゾピクロン**（不眠症治療剤/GABA-A受容体作動剤）

【概要】非ベンゾジアゼピン系に属するGABA-A受容体作動剤で、睡眠導入剤として、一過性不眠、短期不眠や高齢者の不眠に効果を期待しています。

不眠症	日本	P	2010年度申請予定	経口剤
-----	----	---	------------	-----

製品名：**Inovelon(欧)/BANZEL(米)** 開発品コード：**E2080** 一般名：**ルフィナマイド**（てんかん治療剤）

【概要】新規構造のトリアゾール誘導体で、過剰電荷を帯びている脳内ナトリウムチャネルの活動を調節します。すでにレノックス・ガストー症候群の併用療法として、欧州では「Inovelon」、米国では「Banzel」のブランド名で承認を取得しております。

【剤形追加】経口懸濁液	米国	申請（2010年4月）受理（同年7月）	経口剤
レノックス・ガストー症候群の併用療法	日本	P	経口剤

(3) 血管・免疫反応

製品名：**ヒュミラ** 開発品コード：**D2E7** 一般名：**アダリムマブ**（ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体）

【概要】ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体であり、自己免疫疾患の炎症反応に関わる中心的なサイトカインであるTNF を中和します。日本では関節リウマチ、乾癬の適応を取得しています。

【効能・効果追加】クローン病	日本	申請（2009年9月）	注射剤	
【効能・効果追加】強直性脊椎炎	日本	申請（2009年10月）	注射剤	
【効能・効果追加】若年性関節リウマチ	日本	P	2010年度申請予定	注射剤
【効能・効果追加】関節の構造的損傷の防止	日本	P	2011年度申請予定	注射剤
【効能・効果追加】潰瘍性大腸炎	日本	P /	2011年度申請予定	注射剤

：2010年4月以降の進捗

*：申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

開発品コード：**E5564** 一般名：**エリトラン**（重症敗血症治療剤/エンドトキシン拮抗剤）

[概要] エンドトキシン拮抗作用により、炎症性サイトカインの遊離を阻害し、エンドトキシンによって引き起こされる臨床症状の発現を抑制します。

重症敗血症	国際共同治験 P	2010年度申請予定	注射剤
-------	----------	------------	-----

開発品コード：**E5555**（トロンビン受容体拮抗剤）

[概要] トロンビン受容体（PAR-1）と選択的に結合し、トロンビンが介在する血小板や血管平滑筋細胞の活性化を抑制し、血小板凝集抑制作用と平滑筋増殖抑制作用を示します。

急性冠症候群	米国 P	経口剤
	欧州 P	
	日本 P	
アテローム血栓症	米国 P	経口剤
	欧州 P	
	日本 P	

開発品コード：**E6201**（新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤）

[概要] 新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤です。乾癬において、炎症性の細胞内シグナル伝達の抑制や皮膚の上皮細胞の異常増殖を抑制することによる効果を期待しています。

乾癬	米国 P	外用剤
	欧州 P	

開発品コード：**T-614** 一般名：**イグラチモド**（関節リウマチ治療剤）

[概要] 炎症性のサイトカインの産生および免疫グロブリン産生を抑制し、関節リウマチへの効果を期待しています。

関節リウマチ	日本 P	2011年度申請予定	経口剤
--------	------	------------	-----

製品名：**タンボコール** 一般名：**フレカイニド**（頻脈性不整脈治療剤）

[概要] 心筋のナトリウムチャネル遮断作用によって頻脈性不整脈を抑制します。成人における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、心室性）に加えて、小児における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性）の承認を取得しました。

【効能・効果、用法・用量追加】小児における頻脈性不整脈	日本	承認（2010年5月）	経口剤
-----------------------------	----	-------------	-----

（4）消化器

製品名：**パリエット/アシフェックス** 開発品コード：**E3810** 一般名：**ラベプラゾール**（プロトンポンプ阻害剤）

[概要] プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。

【効能・効果、用法・用量追加】非びらん性胃食道逆流症	日本	承認（2010年6月）	経口剤
----------------------------	----	-------------	-----

【効能・効果追加】3剤併用による胃MALTリンパ腫、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、及び特発性血小板減少性紫斑病におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法	日本	承認（2010年6月）	経口剤
---	----	-------------	-----

【剤形追加】エクステンドリリース50mg製剤	米国	申請（2010年3月）受理（同年6月）	経口剤
	欧州	申請手続き中	

【用法・用量追加】逆流性食道炎	日本	申請（2010年4月）	経口剤
-----------------	----	-------------	-----

【効能・効果追加】機能性ディスペプシア	日本	P	経口剤
---------------------	----	---	-----

：2010年4月以降の進捗

*：申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

(5) 他疾患

開発品コード: **KES524** 一般名: **シブトラミン** (肥満症治療剤/脳内セロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害剤)

[概要] 脳内の神経伝達物質であるセロトニンとノルアドレナリンの再取り込みを阻害することにより、中枢におけるノルアドレナリン機能とセロトニン機能が亢進し、満腹感の亢進とエネルギー消費促進が起こり、体重増加の抑制をもたらします。

肥満症	日本 申請(2007年11月)	経口剤
-----	-----------------	-----

2) アジアの開発品

製品名: **グルファスト** 一般名: **ミチグリニド** (速効型インスリン分泌促進剤)

[概要] 膵臓の細胞スルフォニルウレア受容体と選択的に結合し、膵臓からのインスリン分泌を促進することによって血糖の低下作用を示します。シンガポールでの申請は取り下げました。

2型糖尿病	承認: タイ、フィリピン 申請: インドネシア、マレーシア	経口剤
-------	----------------------------------	-----

製品名: **ガスモチン** 一般名: **モサブリド** (消化管運動機能改善剤)

[概要] 選択的なセロトニン(5-HT₄)受容体アゴニストによる消化管運動機能改善剤であり、アセチルコリン遊離の増大を介して消化管運動促進作用および胃排出促進作用を示します。インドネシアで申請していましたが、当局より非承認の通知を受け取りました。

機能性胃腸症	上市: タイ 承認: フィリピン 申請: マレーシア、ベトナム	経口剤
--------	---------------------------------------	-----

一般名: **クレブジン** (慢性B型肝炎治療剤)

[概要] DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。

慢性B型肝炎	上市: フィリピン(製品名 Revovir) 申請: インドネシア、マレーシア、タイ、インド 臨床試験中: 中国 P	経口剤
--------	--	-----

製品名: **ユリーフ** 一般名: **シロドシン** (前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤)

[概要] 選択的 1A受容体遮断剤であり、主に前立腺に存在する 1A受容体を遮断することにより、前立腺の緊張を緩和して尿道抵抗を改善し、前立腺肥大症に伴う排尿障害を改善します。

前立腺肥大症に伴う排尿障害	申請: シンガポール	経口剤
---------------	------------	-----

: 2010年4月以降の進捗

*: 申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。